

株式会社芝浦電子に対する 公開買付けの概要説明記者会見

ミネベアミツミ株式会社

代表取締役 会長 CEO 貝沼 由久

2025年8月18日

本公開買付けの概要

項目	概要
公開買付者	ミネベアミツミ株式会社
対象者	株式会社芝浦電子
公開買付期間（予定）	2025年5月2日から2025年 8月28日 （ 81 営業日）
買付価格	1株当たり5,500円 ⇒ 6,200円
プレミアム	Yageo公表日 2月5日 終値(3,135円) : 97.77%
	前日 8月13日 の終値(5,860円) : 5.80%
	過去 1 ヶ月終値単純平均(6,007円) : 3.21%
	過去 3 ヶ月終値単純平均(6,013円) : 3.11%
	過去 6 ヶ月終値単純平均(5,472円) : 13.30%
買付予定株数の下限	下限 : 7,539,900株（所有割合 : 50.01%）
買付予定株数の上限	設定せず
買付代金の総額	82,583,110,500円 ⇒ 93,093,688,200円
資金手当	自己資金
公開買付代理人	大和証券株式会社

何故、このタイミングか？

1. 外為法クリアランス取得状況

- a. 外為法クリアランス申請の審査が長引いており、極めて異例な事態
- b. 特に、外為法27条3項で二度にもわたって待機期間が延長されている。異例中の異例。
- c. 外為法上は、27条3項で最大4か月(10月1日まで)延長可能。
更に27条5項の「審議会」を開催でプラス1か月延長可能(27条6項)。最長11月1日。
- d. 日本政府は、日本の安全や技術を守る観点から必ず適切なご判断をされると信じている。
当社の認識は、公開買付の実現可能性に重大な疑義が生じている、ということ。

2. 芝浦電子株主様の利益への貢献

- a. 応募契約を締結していただいている23%もの大株主(金融機関・創業家)に、
「早期に、かつ、確実に」現金化する機会をご提供したい。
- b. その他の芝浦電子株主の皆様にも、早期に、かつ、確実に現金化できる機会を得ることが重要。

3. ミネベアミツミ株主様の利益への貢献

- a. 大きなシナジー(技術・販売・コスト)を見込む中で、シナジー効果発現のタイミングを早めて、
芝浦電子様と当社グループの利益拡大を一刻も早く実現することが、当社株主の利益になる。
- b. 当社のリソースを投入し続けることによる「他の戦略的投資案件への影響」を甘受しがたい(インサイダーフリー)

価格と財務規律

1. 何故6,200円か？

- a. 従前からのファイナンシャルアドバイザーによるDCFによるバリュエーションで**経済合理性がある**だけでなく、経営統合によって早期に見込まれる**シナジーを考慮すると、当社従来の計算方法においても合理的**な水準。
DCF法で4,116円～6,300円（2025年4月9日に大和証券様より株式価値算定書を取得）
- b. 前述の通り、これまでの株価推移や8月13日直近の株価水準などを総合的に勘案して、**大多数の芝浦電子株主様にご納得いただける水準。**

2. ミネベアミツミの財務規律との整合

- a. 仮にEBIT70億円を早期に達成できると見込むと、EBITマルチプルで11.9倍になる。
※株式時価総額930億円 - Net Cash100億円 = EV830億円 で計算。
- b. EBIT80億円超で約10倍**となる。**EBIT100億円は出せると**見込む。
- c. 特に、統合後早い段階から期待できるコストシナジーや、その後のクロスセルや新製品開発によるシナジーが加わると、十分に投資家の皆様にご納得のいただける水準。

MinebeaMitsumi
Passion to Create Value through Difference